

アルコニックス株式会社
2025年3月期 第1四半期
決算説明資料

2024年8月9日



INDEX

1. 2025年3月期 1Q 決算概要
2. 2025年3月期 通期業績見通し
3. トピックス

会社概要 / Appendix

INDEX

1. 2025年3月期 1Q 決算概要
2. 2025年3月期 通期業績見通し
3. トピックス

会社概要 / Appendix

2025年3月期 第1四半期 エグゼクティブ・サマリー



経営環境	<ul style="list-style-type: none">▶ アルミ・銅製品の出荷状況(4、5月)は改善し、非鉄市況も前年同期比で上昇▶ 中国経済の停滞は続いたが、半導体や自動車の国内生産は堅調に推移
第1四半期 決算	売上高：45,850百万円（前年同期比+8.2%） 営業利益：1,802百万円（同+13.0%） （営業利益率：3.9%（同+0.2pt）） 経常利益：2,078百万円（同+35.8%） （経常利益率：4.5%（同+0.9pt）） 四半期純利益：1,289百万円（同+50.2%）
2025年3月期 業績見通し	売上高：185,000百万円（2024年3月期比+5.8%） 営業利益：7,200百万円（同+31.8%） 経常利益：7,200百万円（同+32.2%） 当期純利益：4,500百万円（同+181.6%）
配当政策 株主還元策	期初予想のとおり前期より3円増配予定 中間配当29円 + 期末配当29円 = 年間58円(予定)

業績概要 2025年3月期 第1四半期



(百万円)	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	対売上高比率 (%)	増減率 (%)	2025年3月期計画値(通期)	
					通期見通し	進捗率
売上高	42,370	45,850	-	+8.2%	185,000	24.8%
売上総利益	5,748	6,384	13.9%	+11.1%	25,800	24.7%
販売費及び一般管理費	4,153	4,581	10.0%	+10.3%	18,600	24.6%
営業利益	1,595	1,802	3.9%	+13.0%	7,200	25.0%
経常利益	1,530	2,078	4.5%	+35.8%	7,200	28.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	858	1,289	2.8%	+50.2%	4,500	28.7%
1株当たり 四半期純利益(円)	28.53	42.80	-	-	149.31	-
EBITDA(参考)	2,730	2,989	6.5%	+9.5%	11,700	25.5%

*1 四半期純利益を指す

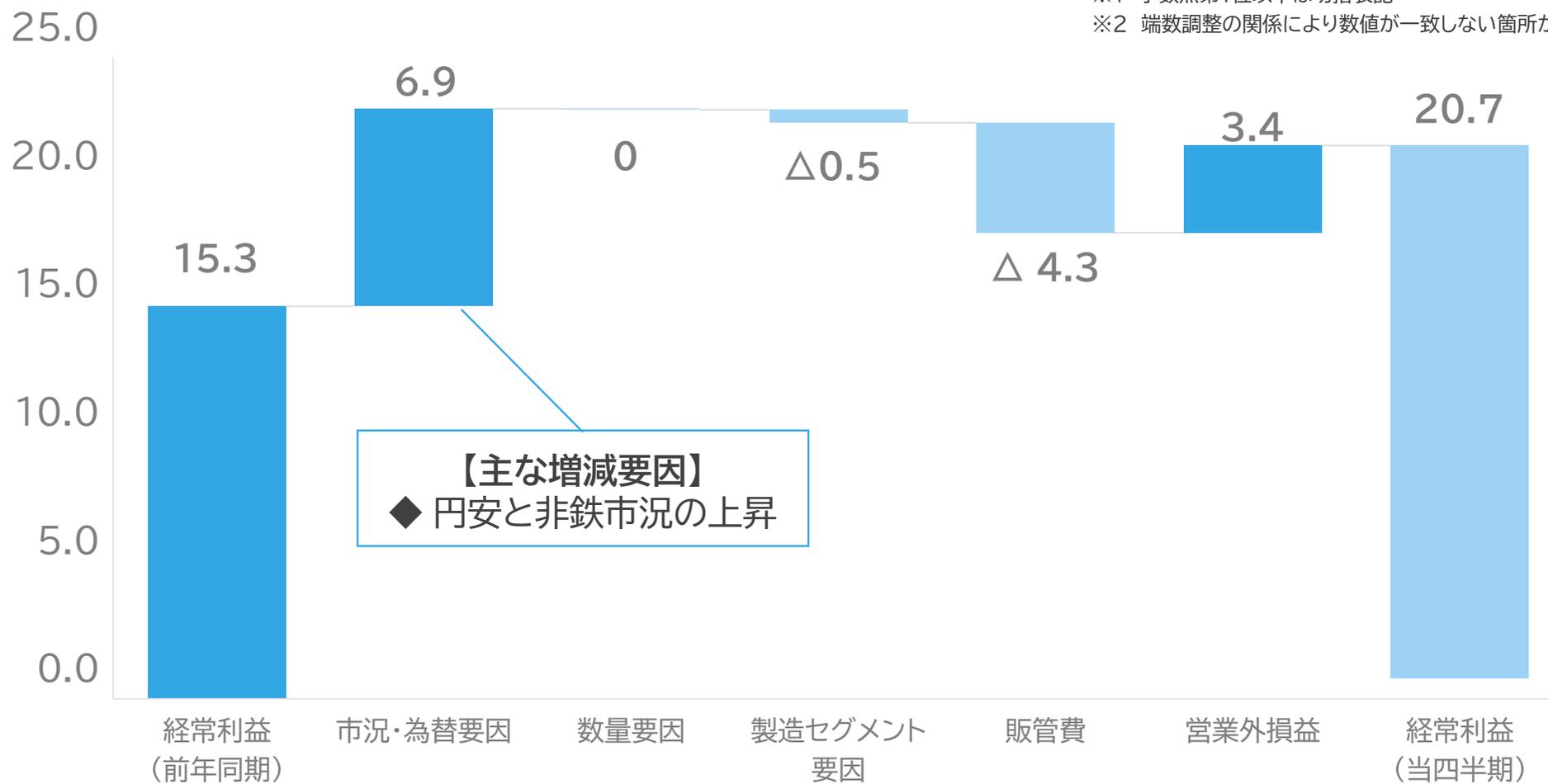
*2 1株当たり四半期純利益を指す

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

経常利益の増減分析 前年同期比



※1 小数点第1位以下は切捨表記
※2 端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある



セグメント別業績 2025年3月期 第1四半期



※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

(百万円)		2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	構成比	増減額	増減率	
商社流通	電子機能材	売上高	6,983	7,485	16.3%	+502	+7.2%
		セグメント利益	436	720	34.7%	+283	+65.1%
	アルミ銅	売上高	17,443	19,458	42.4%	+2,015	+11.6%
		セグメント利益	183	449	21.6%	+265	+144.2%
	計	売上高	24,426	26,943	58.8%	+2,517	+10.3%
		セグメント利益	620	1,169	56.3%	+549	+88.5%
		利益率	2.5%	4.3%	-	+1.8pt	-

	売上高	セグメント利益
電子機能材	主にニッケルや一部レアメタル取引が堅調で、売上高は増加	増収要因に加え、市況上昇により期中のニッケルや一部レアメタルの取引の収益率が改善して増益
アルミ銅	主に自動車向けのアルミ鍛造品や伸銅品、医療用チタン素材の出荷量が増加し、売上高は増加	増収要因に加え、銅スクラップとアルミ再生塊のスペレド拡大が寄与して増益 ※ スペレド: 売買スペレド

セグメント別業績 2025年3月期 第1四半期



※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

(百万円)		2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	構成比	増減額	増減率	
製造	装置材料	売上高	9,887	10,285	22.4%	+398	+4.0%
		セグメント利益	△99	61	3.0%	+160	-
	金属加工	売上高	8,056	8,621	18.8%	+565	+7.0%
		セグメント利益	1,006	847	40.8%	△158	△15.8%
	計	売上高	17,943	18,906	41.2%	+963	+5.4%
		セグメント利益	906	908	43.7%	+2	+0.2%
利益率		5.1%	4.8%	-	△0.2pt	-	

	売上高	セグメント利益
装置材料	円安効果も加わって総じて前年並みに推移し、売上高は微増	増収要因に加え、製造原価上昇分の価格転嫁が進み、円安効果も加わって増益、黒字転換
金属加工	自動車関連部品及び半導体製造装置向け部品が堅調に推移し、売上高は増加	主に半導体実装装置向け部品が減益

グループ会社別取扱品目一覧

※売上総利益ベース(前年同期比)
QonQ 増加:○ 減少:×



	取扱い グループ会社	自動車 (部品・材料)	半導体	電子材料 電子部品	その他
電子機能材	<ul style="list-style-type: none"> アドバンスト マテリアルジャパン ANDEX 	<ul style="list-style-type: none"> EV/FCV部品材料 ○ 車載電池用材料 ○ 	<ul style="list-style-type: none"> 半導体各種材料 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯機器端末部品材料 × IT機器部品材料 各種電池材料 	<ul style="list-style-type: none"> 特殊鋼素材(レアメタル) ○ ※ニッケル、モリブデン等
アルミ銅	<ul style="list-style-type: none"> 林金属 アルコニックス・三高 アルミ銅センター 平和金属 	<ul style="list-style-type: none"> 電装部品 ○ 自動車構成部材 ○ 	<ul style="list-style-type: none"> リードフレーム用銅条 	<ul style="list-style-type: none"> コネクタ部品 プリント基板部品 	<ul style="list-style-type: none"> 建築資材 電気設備部品(ブスバー) アルミ缶材 熱交換器用素材(チタン他) 医療向けチタン展伸材 空調機器向け材料 (アルミ圧延品・伸銅品)
装置材料	<ul style="list-style-type: none"> Univertical 東海溶業 マークテック 東北化工 富士カーボン製造所 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車構成部材用めっき材料 金型用溶接材料 ブレーキパッド用カシュー樹脂 自動車生産ライン向け 非破壊検査装置/化成品 電装部品用モーター部品 	<ul style="list-style-type: none"> 半導体用めっき材料 	<ul style="list-style-type: none"> 電波吸収体 	<ul style="list-style-type: none"> 非破壊検査装置/検査用化成品 マーキング装置 電気設備部品(ブスバー) 電動工具/家電等向けモーター部品
金属加工	<ul style="list-style-type: none"> 大川電機製作所 大羽精研 富士プレス FUJI ALCONIX Mexico 富士根産業 ジュピター工業 ソーデナガノ 	<ul style="list-style-type: none"> パワートレイン向け部品 EV車載電池向け部品 自動車試作部品 	<ul style="list-style-type: none"> 製造装置向け部品 実装装置向け部品 × 	<ul style="list-style-type: none"> コネクタ端子部品 	<ul style="list-style-type: none"> 航空機用部品 空調機器向け部品

連結貸借対照表 2025年3月期 第1四半期

- ▶ 流動資産／有利子負債*：非鉄市況の回復に伴う商社流通セグメントにおける売上債権・棚卸資産・買入債務の増加
および増加運転資金に伴う短期借入金の増加
- ▶ 有形固定資産：北九州でのリサイクル関連投資(アルミ銅センター)の建設プロジェクト稼働
- ▶ 純資産：円安ドル高進行によって海外グループ会社の資本勘定評価額増

資産の部 (百万円)	2024年3月期	2025年3月期 1Q	増減額	負債・純資産の部 (百万円)	2024年3月期	2025年3月期 1Q	増減額	自己資本比率
流動資産	132,549	144,321	+11,771	負債	116,540	126,286	+9,746	34.8%
現金及び預金	21,471	24,570	+3,098	流動負債	89,693	100,282	+10,588	(前期末)
売上債権	56,994	63,326	+6,332	仕入債務	44,768	47,563	+2,795	35.9%
棚卸資産	49,223	51,197	+1,974	短期借入金等	36,872	43,621	+6,748	ネットD/Eレシオ
固定資産	50,340	50,282	△ 58	固定負債	26,846	26,004	△ 841	0.5
有形固定資産	31,737	32,011	+273	長期借入金等	18,327	17,837	△ 489	(前期末)
無形固定資産	3,088	2,919	△ 168	純資産	66,350	68,317	+1,966	0.5
投資その他資産	15,515	15,351	△ 163	株主資本	54,304	54,746	+442	
総資産	182,890	194,604	+11,713	その他包括利益合計	11,398	12,888	+1,489	
				負債及び純資産 合計	182,890	194,604	+11,713	

*有利子負債 = 短期借入金 + CP + 1年以内支払長期借入金 + 1年以内支払社債 + 社債 + 長期借入金
 ※増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある

INDEX

1. 2025年3月期 1Q 決算概要
2. 2025年3月期 通期業績見通し
3. トピックス

会社概要 / Appendix

2025年3月期 通期業績見通し



(百万円)	2024年3月期 実績 (A)	2025年3月期 通期見通し(B)	2025年3月期 1Q 単期	増減額 (B)-(A)	増減率 (%)
売上高	174,901	185,000	45,850	+10,098	5.8%
売上総利益	22,921	25,800	6,384	+2,878	12.6%
販管費及び一般管理費	17,457	18,600	4,581	+1,142	6.5%
営業利益	5,463	7,200	1,802	+1,736	31.8%
経常利益	5,447	7,200	2,078	+1,752	32.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,598	4,500	1,289	+2,901	181.6%
1株当たり当期純利益(円)	53.05	149.31	42.80	-	-
EBITDA (参考)	10,253	11,700	2,989	+1,446	14.1%
1株当たり配当金(円)	55	58			

【参考】2025年3月期想定レート

Al	US\$ 2,200/MT	Cu	US\$ 8,600/MT	Ni	US\$ 16,500/MT	為替	145円/US \$
----	---------------	----	---------------	----	----------------	----	------------

2025年3月期 通期業績見通し セグメント別



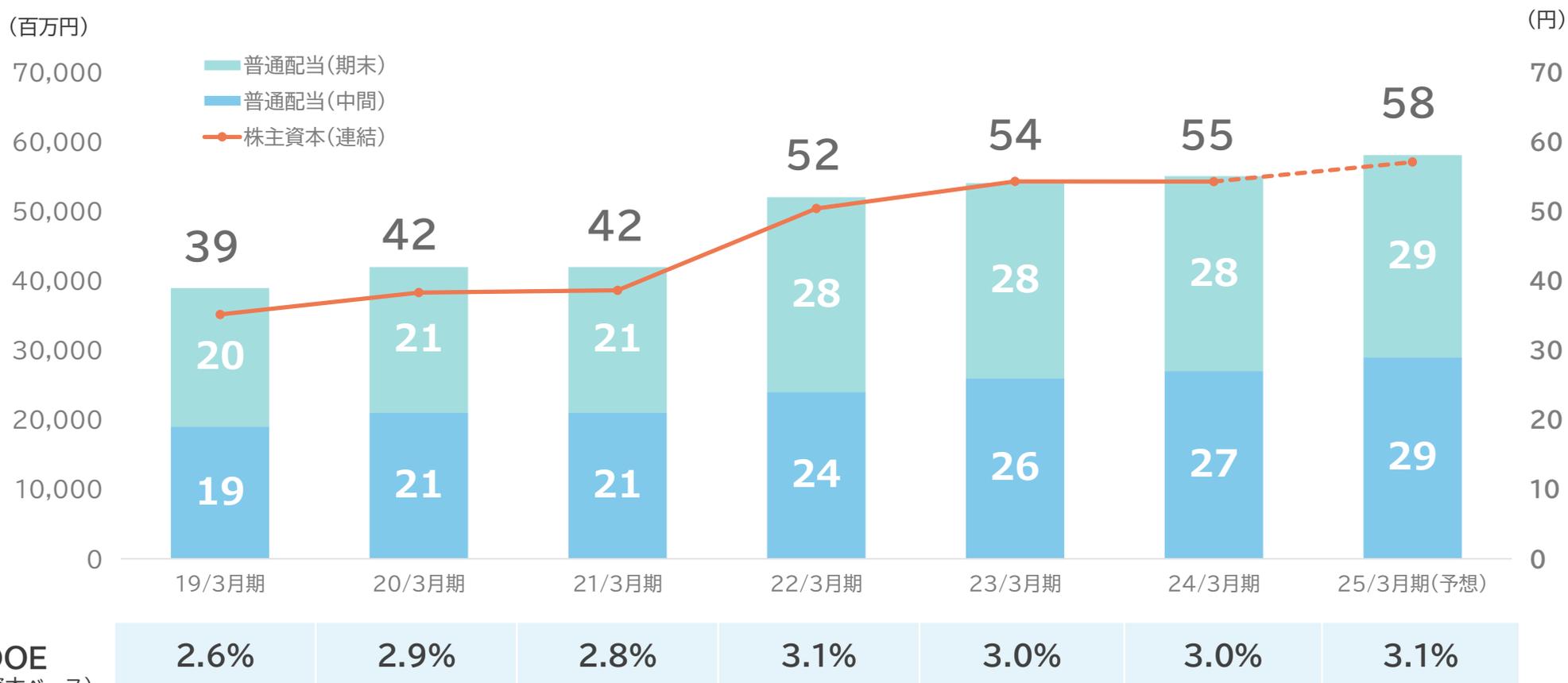
(百万円)		2024年3月期 実績	2025年3月期 1Q	2025年3月期計画値(通期)			
				通期見通し	構成比	進捗率	
商社流通	電子機能材	売上高	30,144	7,485	35,000	18.9%	21.4%
		セグメント利益	1,740	720	2,200	30.6%	32.8%
	アルミ銅	売上高	70,561	19,458	70,000	37.8%	27.8%
		セグメント利益	300	449	400	5.6%	112.3%
	計	売上高	100,705	26,943	105,000	56.8%	25.7%
		セグメント利益	2,040	1,169	2,600	36.1%	45.0%
利益率		2.0%	4.3%	2.5%	-	-	
製造	装置材料	売上高	42,672	10,285	45,000	24.3%	22.9%
		セグメント利益	955	61	1,300	18.1%	4.7%
	金属加工	売上高	31,523	8,621	35,000	18.9%	24.6%
		セグメント利益	2,465	847	3,300	45.8%	25.7%
	計	売上高	74,196	18,906	80,000	43.2%	23.6%
		セグメント利益	3,421	908	4,600	63.9%	19.8%
利益率		4.6%	4.8%	5.8%	-	-	
合計	売上高	174,901	45,850	185,000	-	24.8%	
	経常利益	5,447	2,078	7,200	-	28.9%	
	利益率	3.1%	4.5%	3.9%	-	-	

※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

株主還元策



5月に開示した期初予定のとおり、2024年3月期より3円増配予定



DOE:株主資本配当率(1株当たりの年間配当額÷1株当たりの株主資本×100)
 (「株主資本」の定義:資本金+資本剰余金+利益剰余金)

INDEX

1. 2025年3月期 1Q 決算概要
2. 2025年3月期 通期業績見通し
3. **トピックス**

会社概要 / Appendix

Topics1: 坂本電機製作所 新規連結子会社化【製造セグメント】

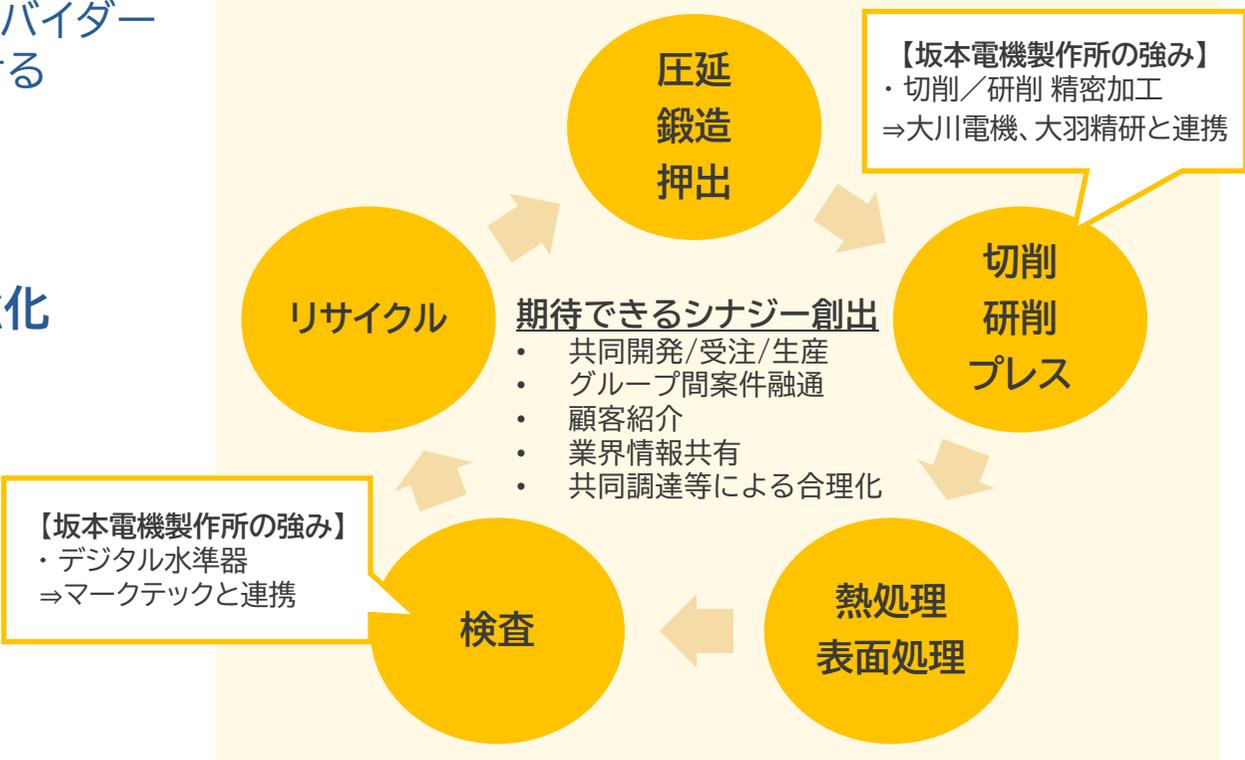


2024年7月17日新規連結子会社化が完了
 当社グループが目指す総合ソリューションプロバイダー
 に向けて金属加工事業バリューチェーンにおける
 グループ間シナジー相乗効果を期待

- ▶ 九州地区製造拠点の獲得
- ▶ 半導体製造装置向け金属加工部品の強化
- ▶ 検査・測定事業の強化

商号	株式会社 坂本電機製作所
所在地	福岡県福岡市
主な事業所	福岡県福岡市(本店および工場) 福岡県福津市(工場)
事業内容	金属精密機械加工部品 産業用制御機器 電子計測機器 等の製造 装置組み立て

ALCONIX金属加工バリューチェーン



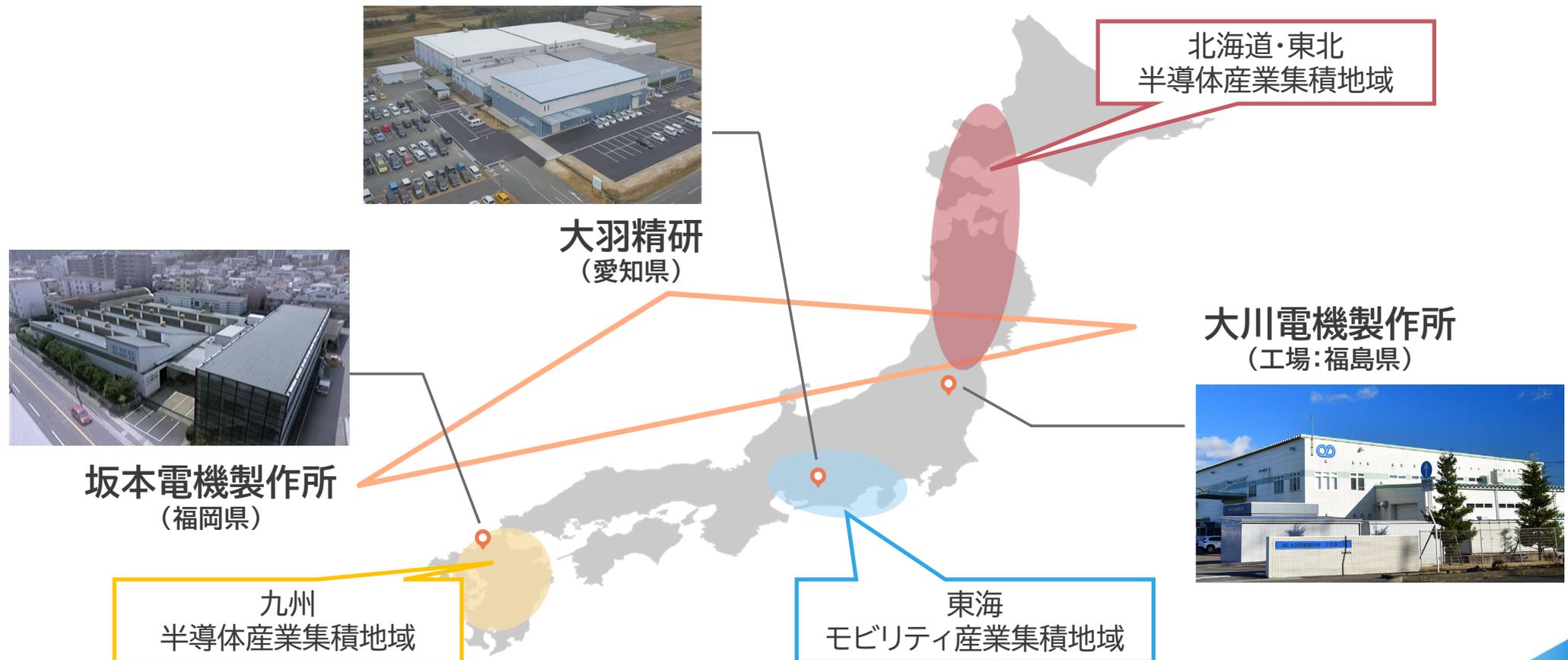
◀ 同社取扱の産業用制御機器

Topics1: 坂本電機製作所 新規連結子会社化【製造セグメント】



精密金属加工という共通性と地理的な分散を有効活用し

「モビリティ」「半導体」という戦略的成長投資分野にてグループとしての受注機会を最大化



Topics2: グループ会社再編【製造セグメント】

従前より協業関係にあった2社を再編統合。One-Stop総合ソリューションプロバイダー企業に向けて製造セグメントの資産を活用し収益力の底上げに着手



マークテック株式会社

- ◆ 化成品の受託生産・受託開発案件が順調に推移
- ◆ 重化学工業分野でのブランド力が高い
- ◆ 元上場企業であるためガバナンスやコンプライアンス対応が必要十分であり且つ人財層が厚い



東北化工株式会社

- ◆ 医薬部外品や劇物等が取扱い可能な生産設備を保有
- ◆ ニッチ分野で高付加価値製品を生産・供給



期待できるシナジー創出

- ◆ 営業基盤強化による国内外市場への拡販
(輸出入の貿易取引強化を含む)
- ◆ 化成品の受託開発・受託生産の幅の拡大、多様化、高付加価値化
- ◆ 知見の共有による生産技術の向上(特に粉末加工分野)と共同研究開発の促進
(高性能樹脂リサイクルなど)
- ◆ 人財増強による管理部門強化と組織ルーチンの強化

化学合成、粉末加工、分散加工など生産技術における共通項が多い

Topics3: サステナビリティ推進の進捗状況

現状スコアとKPI・目標

～24年3月期

27年3月期KPI/目標

H

【女性管理職比率】

6.4%



10%

【教育研修費/人】

7.9万円



18.0万円

【教育研修時間/人】

15.5h



17.5h

(いずれも単体ベース)

E
S
G

当社グループへの外部評価の推移

【FTSE ESG総合スコア】*()内は業界平均値からの上下

0.6(-) → 0.8(-) → 1.1(-) → 1.6(-)
(20/3期) (21/3期) (22/3期) (24/3年期)

【EcoVadis 総合得点】

31 → 39
(23/3期) (24/3期)

【CDP スコア実績】

D → C
(23/3期 初解答) (24/3期)

当社のありたい姿

業界平均以上

要求水準以上

B

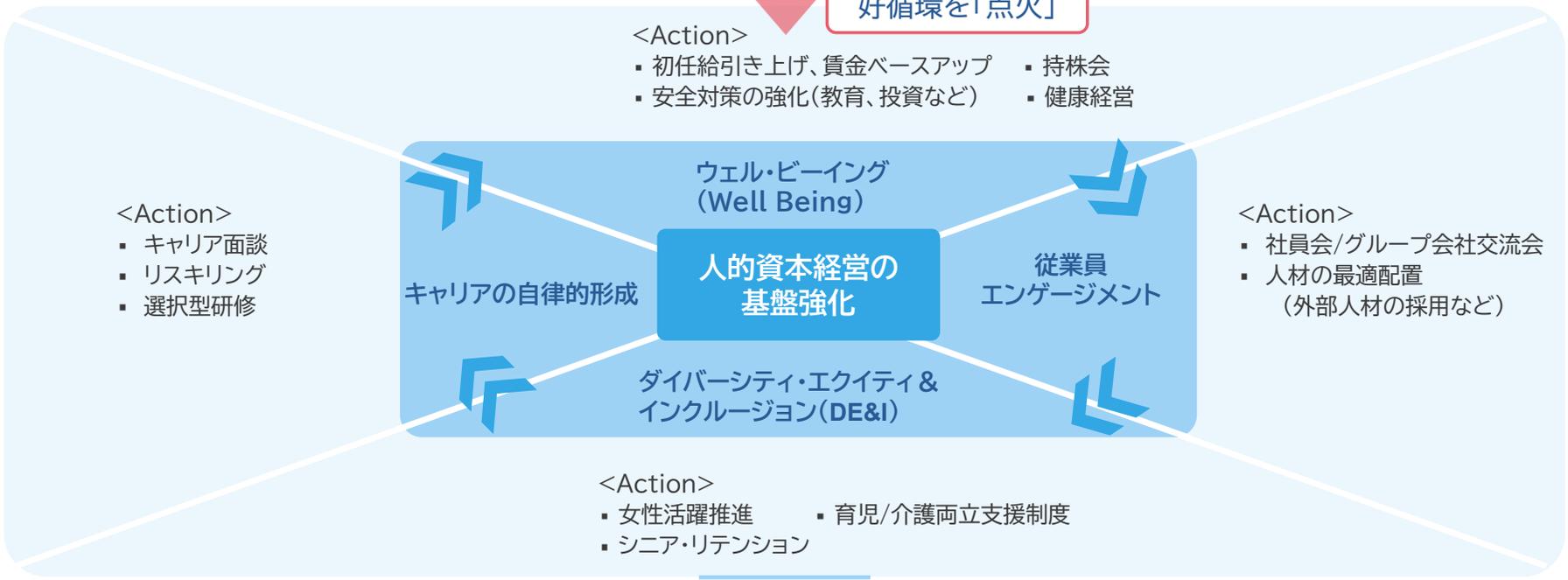
サステナビリティの取り組み - 人的資本経営の基盤強化に向けたアプローチ -



アルコニックスグループの8つの「P」



好循環を「点火」



貴重な人財の確保・定着、付加価値を生み出せる人財ポテンシャルの最大化

「夢を描き、形にする」:アルコニックスグループのさらなる進化の追求

INDEX

1. 2025年3月期 1Q 決算概要
2. 2025年3月期 通期業績見通し
3. トピックス

会社概要 / Appendix

アルコニックスのプロファイル



専門商社が持つ知見・情報力を活かして付加価値の高い製造業に進出
原料・製品の流通から加工製品の製造を行う
非鉄金属の総合ソリューションプロバイダー

非鉄金属専門商社として創業

- 総合商社からMBO・独立した専門商社として出発

製造業のM&Aを開始

- 専門商社M&Aを経て、業容拡大とさらなる成長のため製造業M&Aを開始
- 既に知見のある領域でM&Aを行い既存事業の深耕と新規事業の模索を図る



現在の「アルコニックス」

「非鉄金属専門商社ビジネス」+「金属加工・装置材料の製造業ビジネス」

製造業における付加価値向上とさらなる投資で事業を拡大・成長

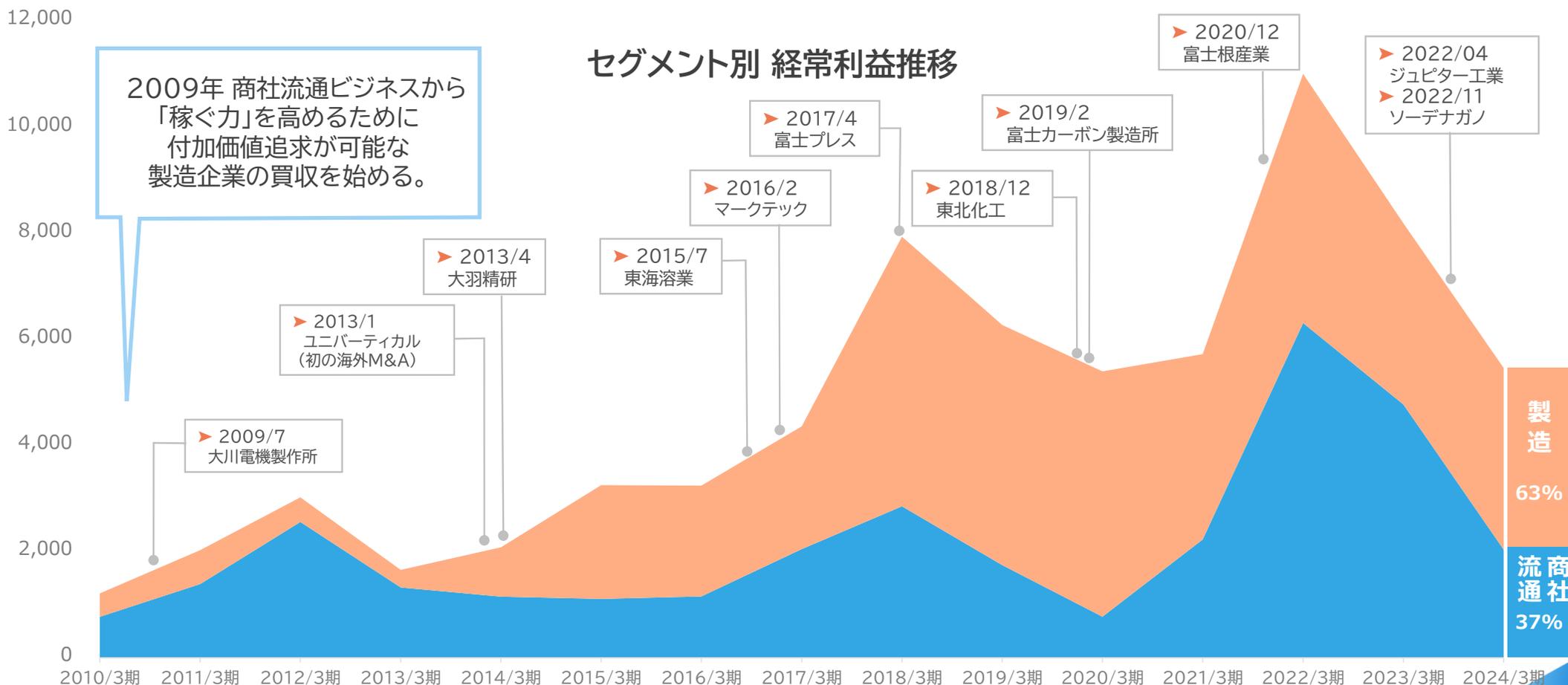
- 付加価値の高い金属加工・装置関連のグループ企業群を形成
- 有望な市場である「自動車」「半導体」「電子材料」においてさらなる事業を拡大
- 「事業承継型」M&Aにより日本の高度な技術を継承。中小企業を支援し社会貢献に寄与
- CVCによるさらなる投資と育成を通じて新たな収益基盤を確立させる新規事業を創出

日本のモノづくりへの貢献を目指す

M&Aにより製造セグメントが第2の柱に成長



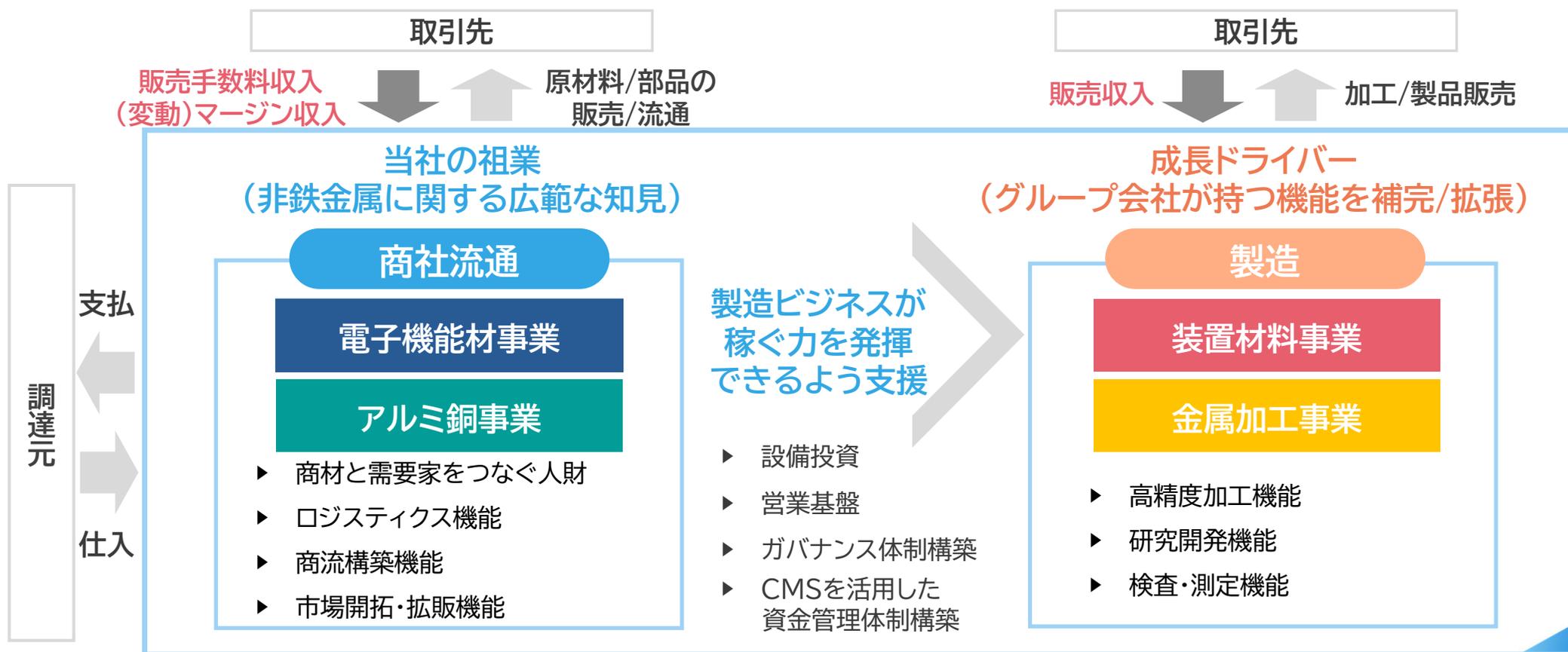
非鉄金属取引主体の祖業 商社流通ビジネスを軸に「稼ぐ力」を高めるため
業容拡大と付加価値追求を目的として製造会社を次々を買収。第2の事業の柱として築く



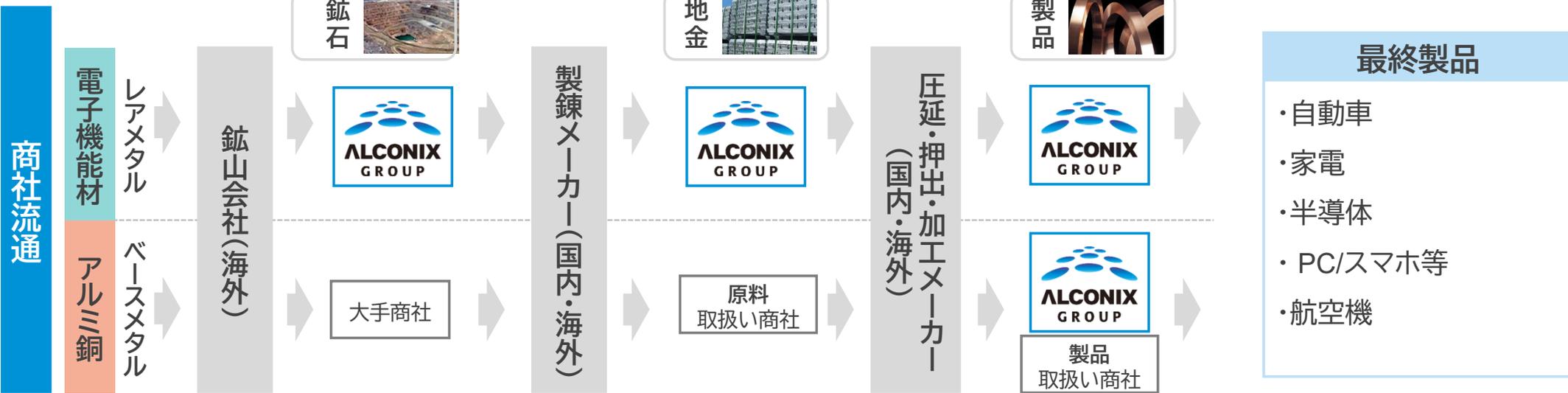
アルコニックス成長の仕組み



祖業である商社流通ビジネスで培った深い専門知識・マーケティング力・顧客対応力を活かし、収益基盤を強固なものにしながら、製造ビジネスで付加価値を提供し、収益増加を図り、バリューチェーンにおけるアルコニックスの存在価値を大きくしていく



非鉄金属業界における当社の位置づけ



アルコニックグループの事業形態

商社流通

電子機能材事業

スマートフォン、車載用電池向け材料や
レアメタル・レアアースの鉱石・地金・製品を取扱う

主要な事業領域



IT機器



二次電池
(蓄電池)



半導体・電子部品

商社流通

アルミ銅事業

アルミ圧延品/加工品、伸銅品、金属珪素、鉛地金、
アルミ/銅スクラップの取扱いとリサイクル事業を行う

主要な事業領域



自動車



半導体・電子部品



家電製品

製造

装置材料事業

自動車・鉄鋼関連向けに
製造業向け材料および検査装置を製造する

主要な事業領域



自動車



鉄鋼



半導体・電子部品

製造

金属加工事業

半導体・自動車・空調向けに、
各種精密金属加工部品を加工・製造する

主要な事業領域



半導体製造装置
(実装装置含む)



自動車



業務用エアコン

非鉄金属業界における当社の位置づけ



		主な事業内容	機会とリスク
商社流通	電子機能材	<p>「電子材料」と「電子部品」が主要な事業分野。</p> <p>IT端末機器/EV自動車/ハイブリッド車に使用される電子部品/化合物半導体/結晶材料、これら材料の生産に不可欠なレアメタル(チタン/タングステン/モリブデン/レアース等)の取扱いを行う。</p> <p>レアメタルに特化し鉱石～地金～中間原料までを一貫して取扱う子会社、コーポレートベンチャーキャピタル(CVC)運営子会社、CVCファンドが所属する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> EVや各種産業機器の高度電子化 他分野における高機能素材の需要の増加 需要家の原材料調達ルートの複雑化 ----- 原材料市況の変動 地政学的要因による供給制約の懸念
	アルミ銅	<p>「製品」と「原料」が主要な事業分野。</p> <p>「製品」分野は、アルミ圧延品/伸銅品/バルブ部品等の建設資機材の輸出、三国取引及び国内取引を行う。</p> <p>「原料」分野は、アルミ/銅スクラップ/アルミ再生地金の他、マグネシウム地金や金属珪素の取扱いを行う。</p> <p>国内流通や問屋機能を有する流通子会社、スクラップヤードを保有し 非鉄スクラップリサイクルを手掛ける子会社が所属する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自動車のCASE化に伴う非鉄需要の拡大 鉱石の品位低下と脱炭素に伴う非鉄スクラップ需要の増加 商社流通業における業界再編 ----- 市況要因による運転資金の増加 リサイクル事業の競争激化
製造	装置材料	<p>M&Aでグループ入りした主に製造業向け材料および検査装置製造子会社で構成される。</p> <p>自動車向け材料/部品/非破壊検査装置、半導体向け材料、鉄鋼や自動車部品向けマーキング装置の開発/製造を行う。</p> <p>金属加工事業と比較して、自動車及び鉄鋼関連分野の割合が高い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 金属加工事業とのシナジー効果 ニッチ分野での高シェア企業による利益最大化の追求 ----- 自動車産業への高い傾注度 競合新技術による市場縮小の懸念 生産拠点や納入先が中国に集中傾向
	金属加工	<p>M&Aでグループ入りした主に切削・研削・プレス加工により非鉄金属関連部品を製造する子会社で構成される。</p> <p>IT端末機器/半導体製造装置/自動車/航空・宇宙/空調向けコア部品の加工・製造を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> EV生産台数増によるリチウムイオン電池の需要増 グループ間における技術協力の深化 顧客情報や営業拠点の共有による販路拡大 ----- 特定の主要顧客、地域の動向に左右されやすい 地政学的リスクやそれに伴うサプライチェーンの混乱 EV用電池におけるリチウム代替の動き

M&Aの考え方



M&Aを通じた中小企業の再編・統合と事業の再構築で筋肉質な企業への変化を支援

【参考】M&Aの事例①：アルコニックス

(東京都、卸売業、従業員数190人、売上高547億円、資本金58億1,020万円)

- 日商岩井の非鉄製品販売部門（卸売）が独立して1981年に設立。2001年に経営陣/ファンドによるMBOを経て独立後の上場。リーマンショック後に事業の先行きに危機感を覚え、業容転換と継続成長を目指し、同業他社のM&A（商流の拡大）、さらには、ニッチで優位性の高い中小製造業をM&A（製品群の拡大）する新たな拡大路線に舵を切った。
- 2009年より14年で16件のベースで、事業承継に悩んでいる成長余地の高い中小製造業を中心にM&A（1度ものれんの減損なし）。グループ管理の陣容は、経理・会計含め、100人規模まで拡大。自社におけるノウハウ構築を進めるとともに、専門機関とのパートナーシップによってM&Aに習熟。将来に向け子会社の経営人材が不足することが予測され、現在、外部採用及び内部での経営人材育成に注力。
- 子会社の設備投資を構想面や資金面でサポートし、自社の流通機能によってグローバルに販路展開を支援。子会社の設備投資支援については、一定の政策ニーズあり。

M&Aを通じた取扱分野の拡大



経済産業省も 成長志向型中堅企業である 当社のM&Aを評価

(参照: 第17回 産業構造審議会 経済産業政策新機軸部会 資料4 P30)

過当競争の改善・規模の経済の実現

経営資源の最適化・投資余力の確保

高付加価値化・高効率化
《 持続的に稼げる企業へ成長 》

大規模な成長投資による
所得向上・良質な雇用の創出
《 成長能力の底上げ 》

【概要抜粋】従業員2000人以下の企業を「中堅企業」と位置づけ産業競争力強化法を改正し成長意欲の高い企業を重点的に支援。

▷ 中堅・中小グループ化税制 - 株式取得価額の最大100%・10年間、損失準備金として積立可能に

※ 別途、特定中堅企業者が地域未来投資促進法の計画承認を受けた場合に設備投資減税を拡充(最大6%の税額控除 ※現行は最大5%)

出所: 経済産業省「新たな事業の創出及び産業への投資を促進するための産業競争力強化法等の一部を改正する法律案の概要」
<https://www.meti.go.jp/press/2023/02/20240216001/20240216001-a.pdf>

など

CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）



従来のM&Aに加え、2021年8月CVCを設立。
アーリー・ミドルステージを中心に素材・モノづくり分野の有望ベンチャー企業へ投資

当社CVCの特徴

商社機能と製造機能の両面からのハンズオン支援
販売・調達、開発・製造・実証など幅広い分野で事業育成を支援



投資先 事業領域

| 素材(Material)

半導体、電子材料、車載関連を中心とした新素材

- ・カーボンナノチューブ
- ・発砲金属
- ・電池材料
- ・磁性材料

| モノづくり(Manufacturing)

新たなイノベーションをもたらす製造・検査技術や
資源循環型社会に貢献するリサイクル技術

- ・AI/ロボティクス
- ・マテリアル インフォマティクス
- ・自動外見検査装置
- ・自動搬送ロボット
- ・金属リサイクル
- ・3Dプリンター
- ・水素発生装置
- ・ドローン

投資実績

運用資産 3,000百万円
投資実績 8件(2024年3月末現在)

 Novel Crystal Technology, Inc.

LINKWIZ
Robotics & Partners



Gaianixx

非鉄金属市況・為替の動向



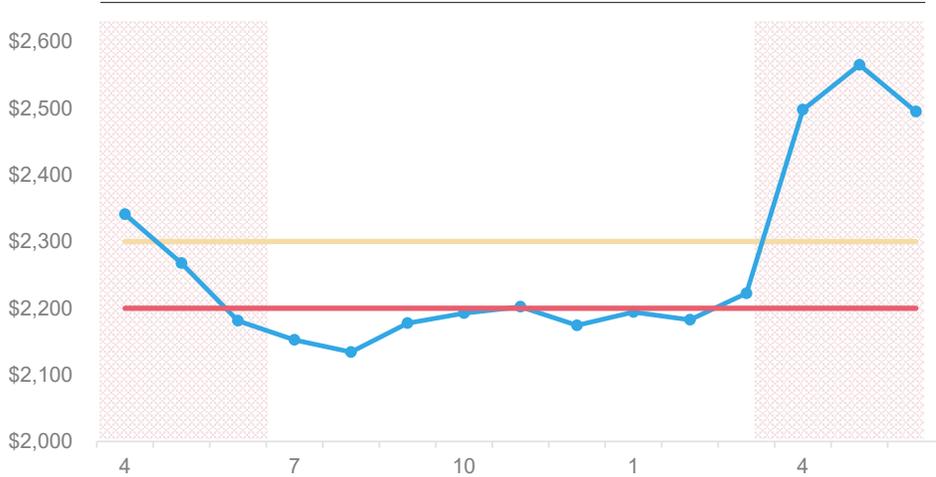
	2024年3月期 通期	2025年3月期		
	実績平均値	期初想定レート (A)	1Q実績平均値 (B)	差異 (B)-(A)
アルミニウム (US\$/MT)	2,202	2,200	2,519	319
銅 (US\$/MT)	8,362	8,600	9,751	1,151
ニッケル (US\$/MT)	19,138	16,500	18,401	1,901
為替 (US\$/円)	144.62	145.00	155.88	10.88

非鉄金属市況・為替の動向

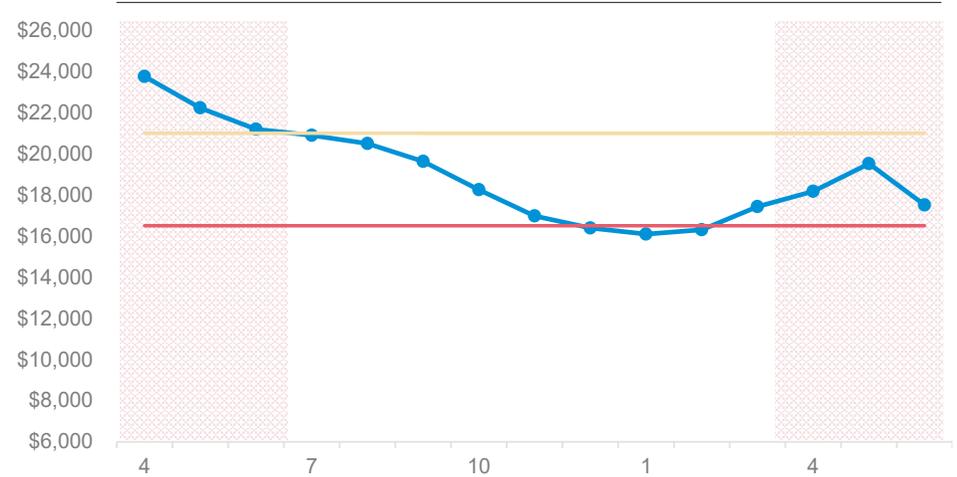
— 2024年3月期予算想定レート — 2025年3月期予算想定レート



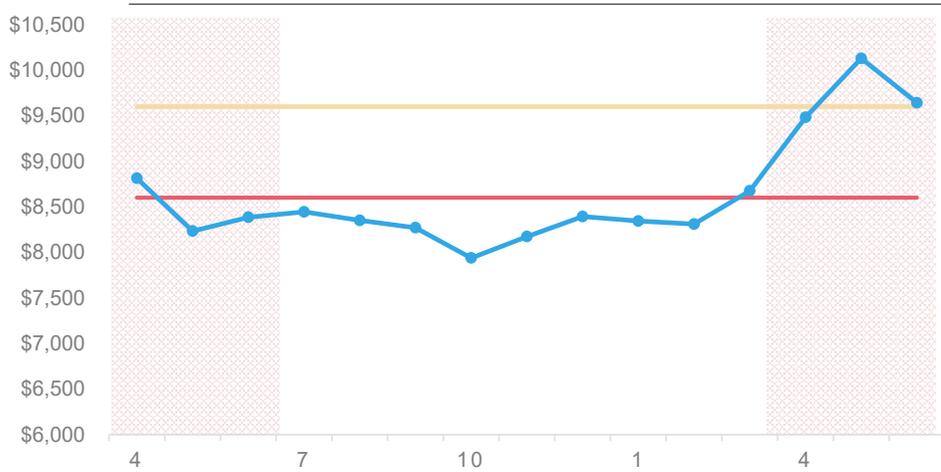
アルミ市況 (US \$/MT)



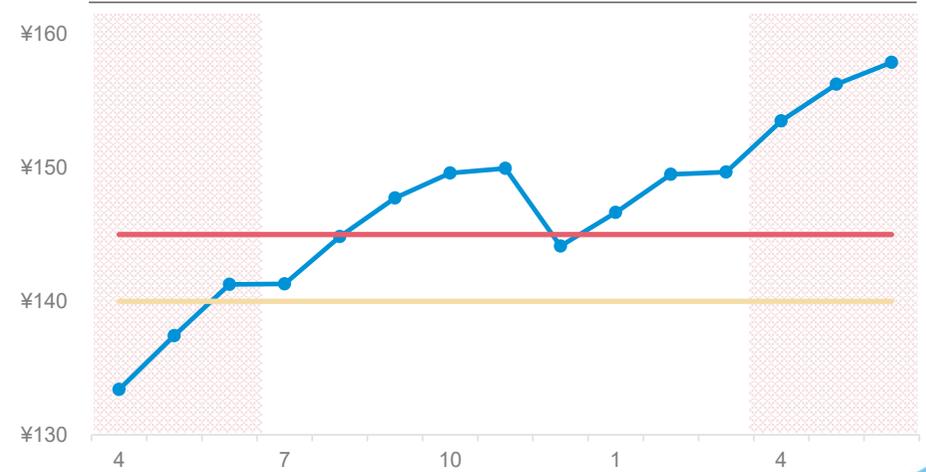
ニッケル市況 (US \$/MT)



銅市況 (US \$/MT)



為替 (US \$/円)



シェアードリサーチ社によるアナリストレポート

中立性客観性を重視し、第三者視点での調査、分析に基づいて作成されたシェアードリサーチ社のアナリストレポートを公開しています。事業構造や競争環境、優位性等の網羅的な内容となっており、投資家の皆様に当社へのご理解を深めていただき、投資判断のご参考としていただけますと幸いです。

アルコニックス株式会社 | Shared Research

【DISCLAIMER】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ先

アルコニックス株式会社 IR広報部

ir@alconix.com

参考:一般的な水準器

